

「環境レポート 2021」

Environmental Report

「環境レポート2021」

Environmental Report



喜楽鋁業株式会社



〈経営理念〉

- 私たちは、地球上の油系廃棄物の無害化とその有効利用を通じ、相手（お客様）のことを思いやり続ける姿勢で、誠魂をもって語り続け喜んでいただくと共に、正しい道と方法で、世界に貢献する企業となります。
- 私たちは、各人のもつ無限の可能性とやる気を引き出し、人間性向上に努め、夫々の目標を必達し、喜んで働く、社是・社訓の心で行動し、正しい喜楽社員としての誇りと立派な社会人を目指します。
- 私たちは、遵法の精神を基本に日々業務改善を目指し、ムリ・ムラ・ムダを排除し、堂々と胸を張って豊かさを創造し、社会に存在価値ある信頼される企業を目指します。

地球上の油系廃棄物の無害化とその有効利用



安全・安心



法に遵じた
適正処理



地球環境保全

編集方針

喜楽鋁業は、2014年より「環境報告書」を発行しています。当レポートは、喜楽鋁業の環境に関する活動の内容を報告するものです。私たちは、地球環境への影響を尊重した環境管理活動を展開し、環境に配慮した事業活動と地球環境保全の両立を図っております。

報告期間

2021年度版は、2010年から2021年までの活動を中心に報告しており、記載しているデータはその実績値です。ただし、それ以外の期間の内容も一部含まれます。

報告対象組織

本レポートの対象範囲は、喜楽グループ〔喜楽鋁業(株)、長野喜楽鋁業(株)、舞鶴喜楽鋁業(株)〕とします。

会社概要

住所 滋賀県湖南市石部町2丁目7番33号
代表者 小宮山 茂幸
設立 昭和48年5月22日
資本金 50,000千円（単体）

事業所

| | | | |
|------------------|--------------|------------|-------|
| ・本社石部第一工場 石部第二工場 | ・竜王工場 | ・関西工場 | ・京都工場 |
| ・東広島営業所 | ・和歌山エネルギー工房 | ・愛媛営業所 | |
| ・名古屋営業所 | ・四国エネルギー工房高瀬 | ・美濃エネルギー工房 | |
| ・徳島エネルギー工房 | ・四日市営業所 | ・北九州工場 | |
| ・尾鷲営業所 | ・大分営業所 | ・北陸営業所 | |
| ・福岡営業所 | ・富山エネルギー工房 | ・長崎営業所 | |
| ・兵庫エネルギー工房神戸 | ・大牟田工場 | ・周東エネルギー工房 | |
| ・山口エネルギー工房十文字 | ・水俣エネルギー工房 | ・広島総合工場 | |
| ・川内営業所 | ・広島営業所 | ・宮崎営業所 | |

グループ会社
・長野喜楽鋁業
・舞鶴喜楽鋁業

主要な事業内容

産業廃棄物収集運搬業・特別管理産業廃棄物収集運搬業・産業廃棄物処分業・特別管理産業廃棄物処分業

営業品目

- ・ 収集運搬
- ・ 中間処理
- ・ 廃油のリサイクル、再生油の販売
- ・ 各種タンク・油槽の清掃
- ・ 油流出事故の緊急出動
- ・ 油系廃棄物処理
- ・ 地下埋設タンク・配管の気密漏洩検査

収集運搬業

お客様より委託された油水産業廃棄物を当社従業員が産業廃棄物に応じた車両（タンク車・清掃車・キャブオーバー車など）を使用し、飛散・流出・悪臭を防止するとともに、また廃掃法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）等における十分な知識や経験そして装備をもって安全・安心・確実に当社処理工場へ収集運搬します。



タンク車



キャブオーバー車



清掃車



ユニック車



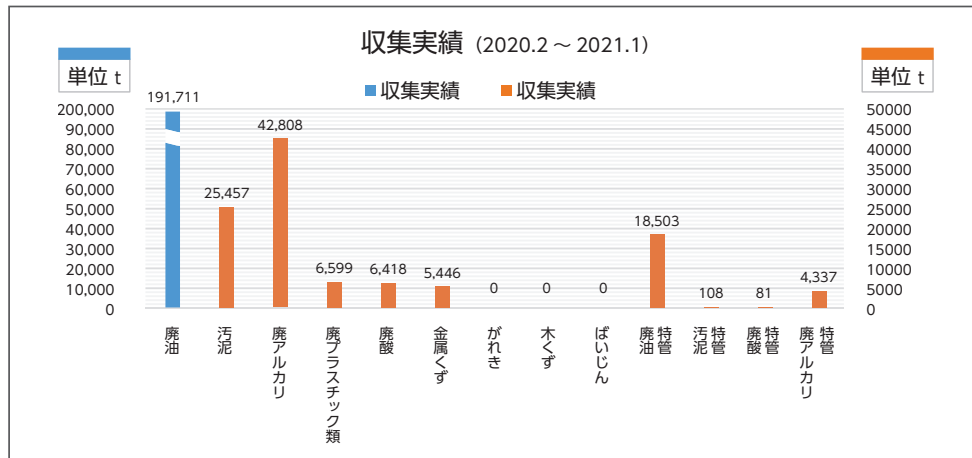
営業車

収集運搬車両

処分業

当社の有する廃油類の無害化処理設備は、「収集運搬」から「処分」まで安全で無公害の一貫処理システムで、「廃掃法」（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）に基づき処理処分する技術を持っています。また、作業安全と公害防止に万全を期した設備を保有しております。

油系廃棄物の「収集運搬」から「処分」まで



環境経営の推進

事業活動に係る環境配慮の計画

私たち喜楽鋳業株式会社は、社是・社訓をもって地球環境への影響を尊重した環境管理活動を展開し、環境に配慮した事業活動と地球環境保全の両立を図ります。油系廃棄物の無害化、有効利用の技術開発、その他の関連業務を通じて世に益し続ける為の基本理念を通じてマネジメント活動を行います。

環境配慮の取組事項

計画期間 2012年度～2021年度

- ・インバーター式コンプレッサーの導入
- ・CO₂排出削減と資源の節約
- ・ボイラーの更新、加熱器の更新、配管保温の見直しによるボイラー使用時間の低減
- ・コンプレッサーのエア量見直しによる稼働時間、及び使用機器の削減
- ・分析機器の増設（塩素量、水分量、発熱量等の測定装置）
- ・送風機の合理化による送風機の使用量削減
- ・照明設備の使用していない区画の消灯
- ・各種水銀灯と事務所の蛍光灯をLED化
- ・低燃費、低排出ガス車の導入
- ・廃熱利用による自家発電（1300kwh）
- ・太陽光発電
- ・環境配慮商品購入

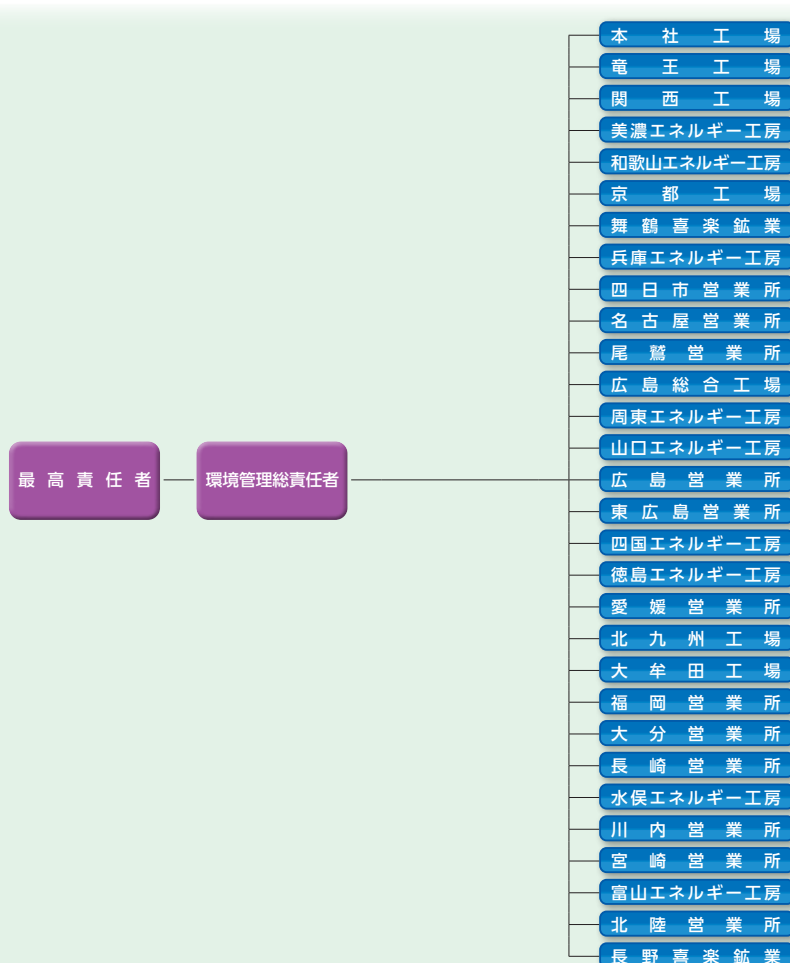
京都工場稼働に伴う取組事項

- ・防音設備による騒音低減
- ・排ガスボイラーの温水、蒸気の再利用
- ・臭気回収ダクト設置による臭気削減
- ・排ガスボイラーによる自家消費用発電設備の導入（省エネ設備の導入）
- ・再加熱ダクトによる排ガスの改善
- ・ミスト装置による悪臭、ダスト低減
- ・雨水利用による資源の有効活用（水の使用量削減）
- ・アンモニア水によるNox低減
- ・空冷化による資源の有効活用（水の使用量削減）

環境配慮の取組推進体制

2018年度に、ISOの認証機関を移転し、トップの意思が全拠点・全部署に早く、確実に伝わるような体制へと再編しました。

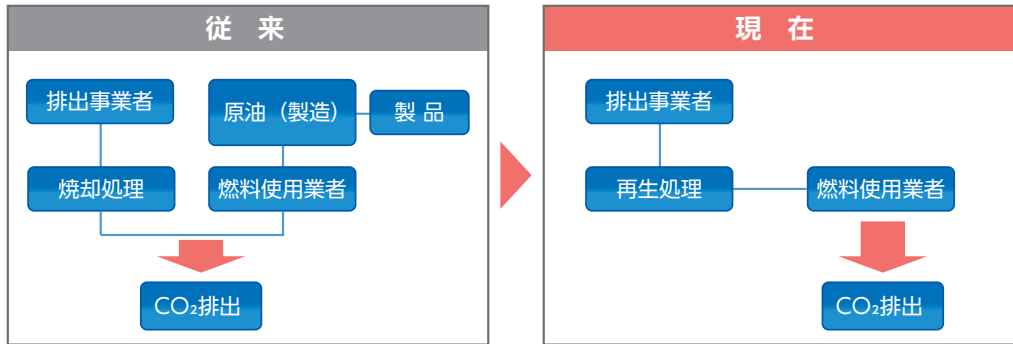
2021年度に新設した「京都工場」を認証登録しました。



環境配慮の取組状況

廃油のリサイクル

当社においては、廃油の回収を行い、再生することで再生燃料として販売しております。廃油リサイクルを行うことで従来焼却処理されていたものをA重油相当品として販売し、化石燃料の使用量を抑制しており、温室効果ガスを削減することができます。

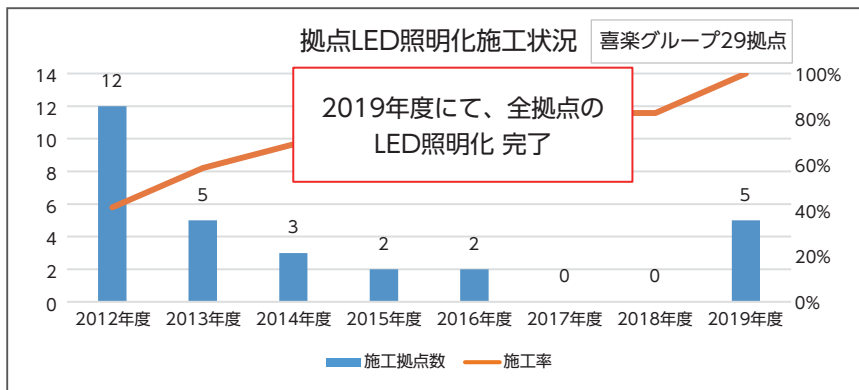


拠点LED照明化

事業活動に伴い排出される温室効果ガス等に関する排出削減のため、目標を設定し取り組んでおります。

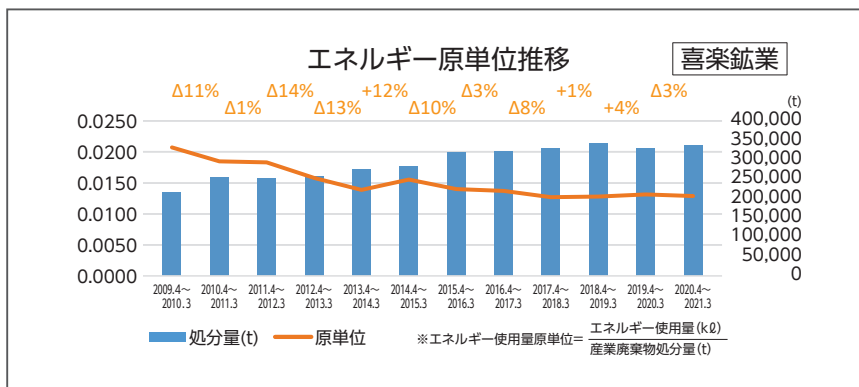
中長期計画（平成24年～令和元年）

| 削減目標 | 機器の整理 | 生産効率の見直し | 各種照明器具の更新 | 冷暖房装置の更新 |
|------|----------|----------|-----------|----------|
| 目標数値 | 14KL / 年 | 10KL / 年 | 35KL / 年 | 若干 |



エネルギー原単位

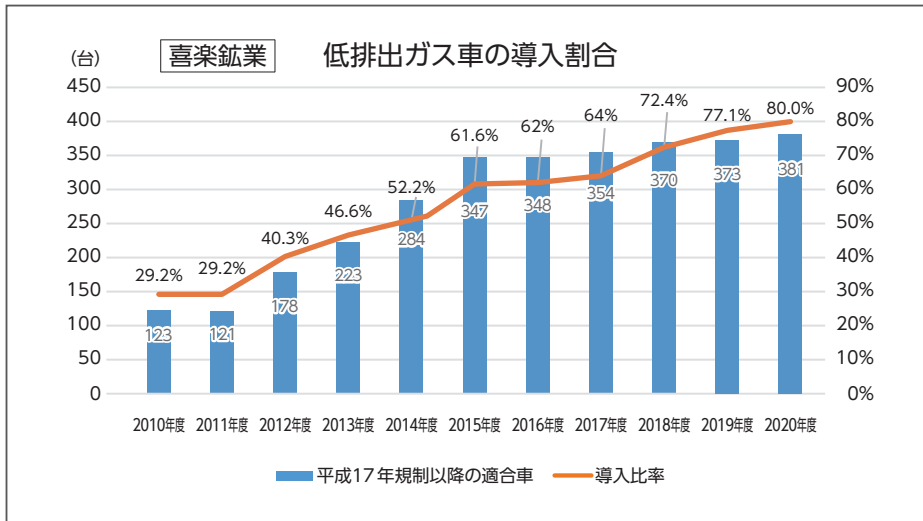
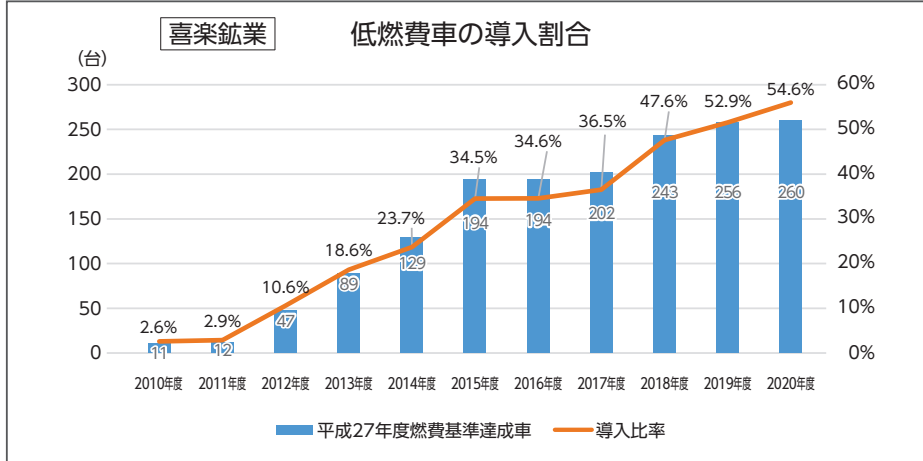
2009年4月より改正省エネ法の施行を受け、国内全事業所のエネルギー使用量の把握と原単位の削減に向けて、経済産業省及び環境省に定期報告書と中長期計画書を提出し、積極的に取り組んでいます。



※ H26.6に焼却施設の増設・営業所の移設等により、電気使用が増加

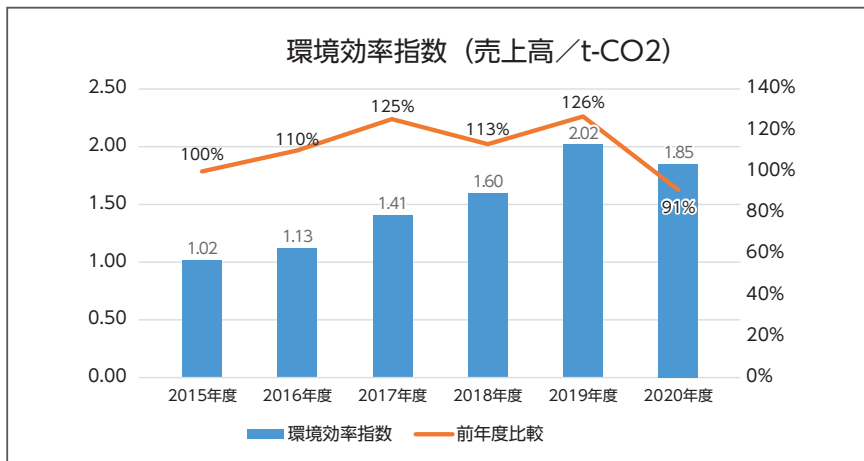
運搬用低公害車の導入

地球温暖化の問題や大気汚染等の生活環境問題を解決することが急務となっている中、当社では、CO₂削減効果の大きい低燃費車・低公害車の導入を推進しております。



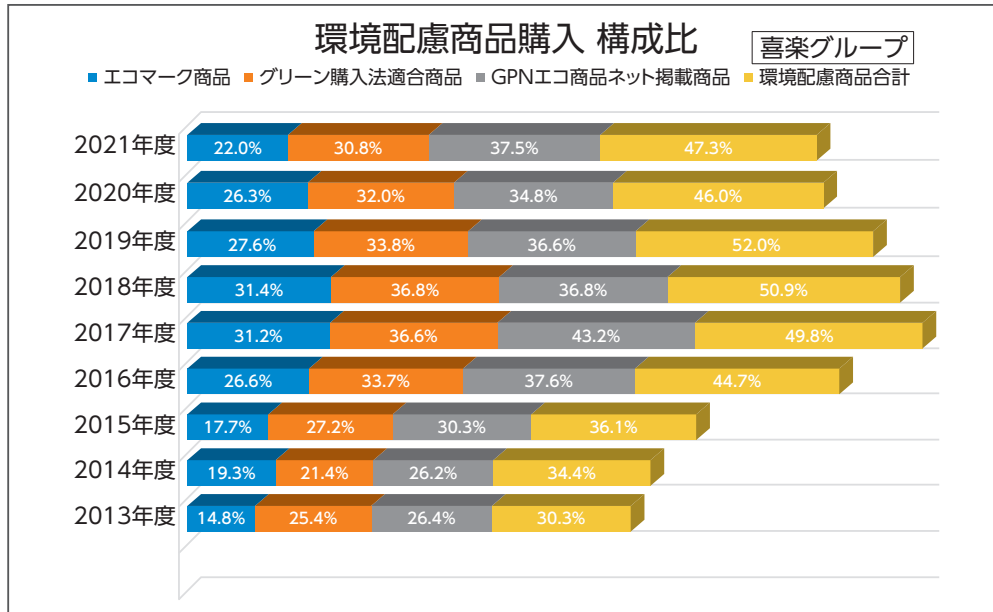
環境効率指数

事業活動に環境負荷を示す指数として、事業全体の環境効率指標を取り入れています。



グリーン購入促進への取組み

当社は、グリーン購入の促進のため、グリーン購入法第6条に基づく「環境物品等の調達に関する基本方針」に則った材料の調達・販売に取り組んでおります。

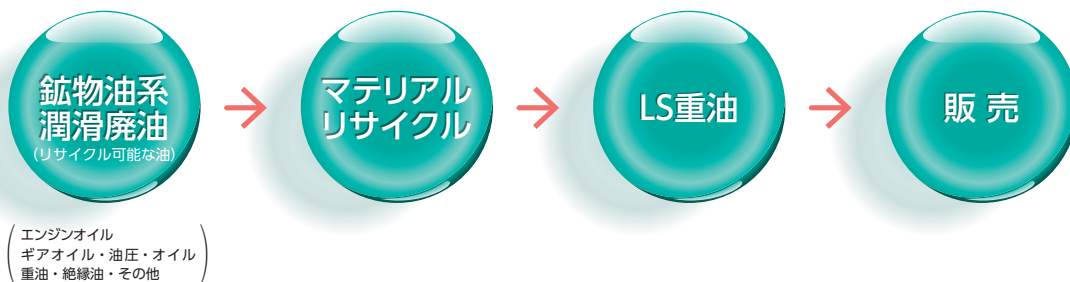


製品等に係る環境配慮の情報

廃油のリサイクル

エンジンオイル、油圧オイル、潤滑油などからの鉱物油系廃油を定期的に収集し、当社のマテリアルリサイクル工場で最新の設備の再生プロセスにより、高品質の燃料油（LS重油）に再生し、お客様にお届けします。

最新設備の再生プロセスをもって燃料油として生まれ変わり
幅広くご利用頂いております。



各種タンク・油槽の清掃

機械関係の整備

工場構内の油水分離槽や溝の清掃、各種機械の整備・潤滑管理、付帯関係の管理・清掃、その他整備の定期点検など長期にわたる管理、また出張管理作業を行うなど、企業のメンテナンスとして細部まで行き届いたトータル管理を行っています。

化学タンク洗浄作業



洗浄準備



残油スラッジ抜取



タンク内洗浄



洗浄後

地上タンク洗浄作業



吸引準備



作業前、異物有



すべて除去



作業完了

床面洗浄作業



高圧ジェット準備



清掃前床面



洗浄剤吹付



高圧ジェット洗浄

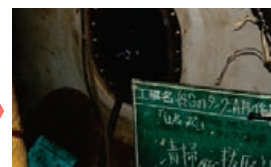
船底洗浄作業



洗浄車両



洗浄前タンク内



タンク内洗浄



洗浄完了

塗装ブース洗浄作業



車両準備



塗料粕吸引



グレーチング清掃



清掃完了

油流出事故の早期処理対応

「24時間緊急対応」こそが当社の使命と考え、人員、車両、設備、資材を常に用意、緊急時に備えています。

道路の流出油除去作業



河川の流出油除去作業



油系廃棄物処理

当社の有する廃油類の無害化処理設備は、「収集運搬」から「処分」まで安全・無公害の一貫処理システムであり、処理する技術を十分に持っています。

現代技術の粋を集めた
焼却設備で無害化しています。

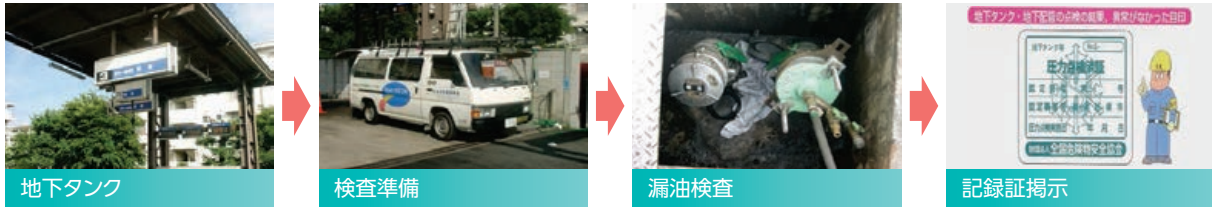


当社の有する廃油類の無害化処理設備は、「収集運搬」から「焼却」まで安全で無公害の一貫処理システムであり、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（廃掃法）に基づくことはもちろん、処理する技術を十分に持っております。

地下埋設タンク・配管の気密漏洩検査

土壌と地下水の汚染を未然に防ぐため、高い技術と経験をもとに安全確保で検査し安心を保障します。

ガソリンスタンドの地下タンク点検作業



地下タンク内非破壊検査作業



地下タンク・埋設配管の気密漏洩検査

高精度・高信頼性のPVリークテスター（微加圧法）を用い、ガソリン等の危険物を貯蔵したまま、タンク本体と配管が一度に検査出来る方法です。この他、加圧漏洩検査方法・微減圧検査方法・実液深度の精密測定などの検査方法があります。

対象設備

- ガソリンスタンドの地下タンク
- ビル・マンションの暖房用地下タンク
- 病院、学校公共施設の暖房用地下タンク
- デパート、ホテルなどの暖房用地下タンク
- 工場内の各種貯蔵タンク
- 油槽所地下タンクおよび配管
- 自家用給油所のタンク
- 給油所の地下タンクおよび配管
- その他、特殊タンク、配管など



地下タンク・配管検査作業

低炭素リーダー賞「削減取組部門」受賞

平成21年4月、滋賀県内CO₂排出量の削減取組を促進し、低炭素社会を形成していく事業を育成するため、滋賀県と経済界が協力して「滋賀エコ・エコノミープロジェクト」が発足しました。

同プロジェクトが主催する「しが低炭素リーダー賞」の「削減取組部門」は、事業所内のCO₂排出について先進的な取組みにより一定の削減実績をあげている好事例を表彰するものです。

当社は、広島総合工場でのCO₂の排出削減や資源節約の工夫（自家発電、コンクリート二次製品乾燥の熱源利用、ハウスでの余熱利用）と苗木の育苗、植林について業界での先進的な取組みを具体的に紹介し、平成22年6月の第1回表彰において「削減取組部門」リーダー賞を受賞しました。



ビジネスマッチングフェア・びわ湖環境ビジネスメッセの出展

当社は、地元滋賀県において、より多くのお客様に当社の基本理念「地球上の油系廃棄物の無害化と、その有効利用」を知っていただく為、「ビジネス マッチングフェア」、「びわ湖環境ビジネスメッセ」に第1回より継続して出展しております。

ビジネス
マッチングフェアは、
2019年度にて
開催終了となりました。

びわ湖環境
ビジネスメッセは、
コロナ禍により、
2019年度 第22回を持って
休止となりました。

喜楽グループ 産業廃棄物収集運搬車両 保有台数

当社は、多様な（油系）産業廃棄物の収集運搬に備え、用途に応じた車両を多数保有しております。

2021年2月末時点

| 車 種 | 喜楽鋳業(株) | 舞鶴喜楽鋳業(株) | 長野喜楽鋳業(株) |
|--------------|---------|-----------|-----------|
| キャブオーバ | 124 | 11 | 4 |
| 清掃車 | 117 | 9 | 2 |
| 脱着装置付コンテナ専用車 | 13 | | |
| タンク車 | 153 | 13 | 12 |
| タンクセミトレーラ | 24 | | |
| ダンプ | 6 | | |
| ダンプセミトレーラ | 4 | | |
| 箱型 | 1 | | |
| バン | 31 | | 1 |
| バンセミトレーラ | 1 | | |
| 粉粒体運搬車 | 2 | | |
| | 476 | 33 | 19 |

各種訓練の実施状況

当社は、災害に備え定期的に各種訓練を実施しております。

避難・消火訓練



消火ポンプ訓練



空気呼吸器訓練



清掃車操作訓練



救護訓練



安全衛生の取組

●安全衛生活動

当社は、人や設備を守るだけでなく、会社の社会的信頼や地域の環境を守るという目から、安全を最優先として安全衛生活動を行っております。また、従業員一人ひとりが心身ともに健康で元気にそして、働きがいとやりがいをもって仕事に取り組める環境作りに力を入れております。

●安全衛生基本方針

1. 安全衛生委員会を中心とした安全衛生管理活動を適切に実施、運用し、継続的な安全衛生水準の向上を目指す。
2. 安全衛生関係法令及び作業手順書を順守する。
3. 職場の5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）を推進する。

●安全衛生活動事例

1. 安全衛生委員会の開催
2. 長時間労働の削減とワークバランスの充実化
3. 月2回の安全衛生委員による交通安全立番の実施
4. 事故対策、ヒヤリハット事例の共有化
5. 始業前ミーティング、「ゼロ災ヨシ!」活動
6. 「事故ゼロ」活動



始業前ミーティング



交通安全立番



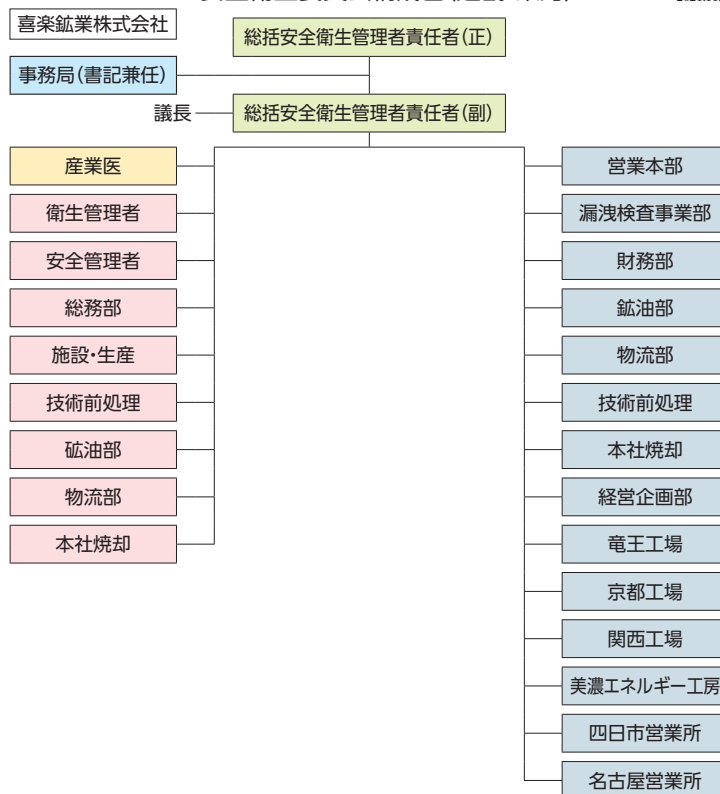
安全衛生委員会

●安全衛生委員会の組織再編

2021.11月より、活性化のため、新メンバーにて活動を開始しました。

安全衛生委員会構成図(近畿・東海)

2021.11.1



リスクマネジメントへの取組み

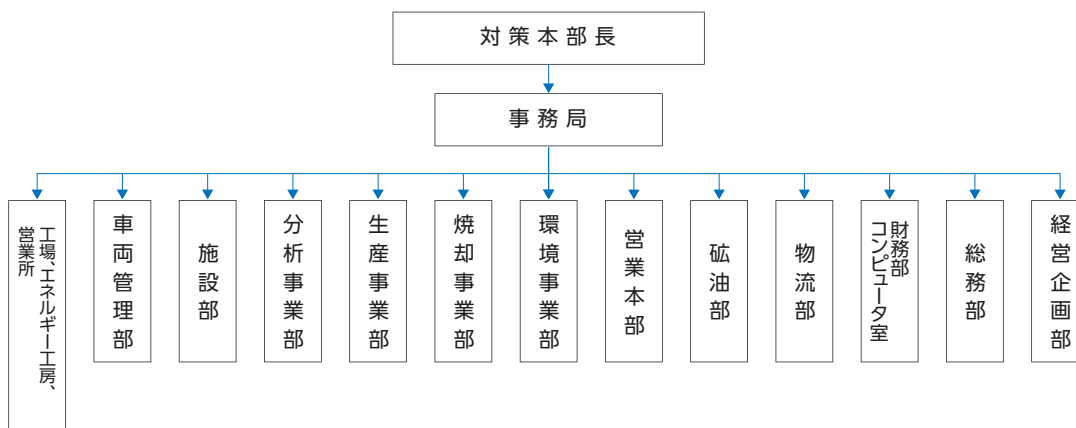
●リスクマネジメント体制の構築

喜楽グループは、事業活動を通じて、お客様や地域社会をはじめとするすべてのステークホルダーの皆様へ貢献することを目指しています。この達成に影響を及ぼす様々なリスクを適切に把握し、その未然防止および発生時の影響最小化と再発防止を経営における重要な課題と位置付けています。

●防災・事業継続マネジメント

喜楽グループでは、不測の事態発生時にも社会的責任を遂行すべく、危機管理計画書に基づき、訓練などの対策推進に継続的に取り組んでいます。

危機管理体制



ニュース

2015.3 外国人工場見学による国際交流を実施

当社、広島総合工場において「公財 北九州国際技術協会」様より、外国の方の工場見学を実施しました。当社は、国際交流を通じ、グローバル化を推進しております。

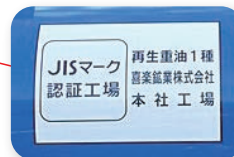


2015.7 再生重油(本社出荷分)において業界第一号となるJISマークを取得

喜楽鋳業株式会社本社工場は、平成27年7月7日付で「JIS K 2170再生重油」の認証を取得しました。再生重油のJISマーク認証としては“業界第一号”となります。今後におきましては、喜楽グループの各工場にJIS認証取得の取組みを拡大するとともに、一層の品質向上に努力し、高品質の製品を安定してご提供できる体制をめざしてまいります。



JQA矢野専務理事(右)から
認定書を受け取る田中営業本部長(左)



認証取得者名：喜楽鋳業株式会社(滋賀県湖南市)
 認証に係る工場：喜楽鋳業株式会社 本社工場
 認証製品：再生重油1種
 工業標準化法に基づくJISマーク表示制度において一般財団法人 日本品質保証機構が規格適合したことを認証した商品

2016.9 再生重油(北九州工場出荷分)においてJISマークを取得

喜楽鋳業株式会社 北九州工場は、平成28年9月16日付で「JIS K 2170 再生重油」の認証を昨年の本社工場に続き取得しました。



認証取得者名：喜楽鋳業株式会社(滋賀県湖南市)
 認証に係る工場：喜楽鋳業株式会社 北九州工場
 認証製品：再生重油1種
 工業標準化法に基づくJISマーク表示制度において一般財団法人 日本品質保証機構が規格適合したことを認証した商品

2016.10

分析技術レポート「PCB最短15分の業界最速分析」最新分析機器導入！

分析方法案内・活動報告

この度、喜楽鉛業株式会社における再生重油へのPCBの誤混入を防ぐ為の自社管理体制を更に強化させることを目的に、PCB分析機器関連メーカー共同で1検体あたり15分で分析結果が出せる方法を確立し、運用を継続しております。今後は、公定法への採用へ向けての準備、各国の代表的なPCB研究者が参加する第9回国際PCBワークショップでのコアタイム発表など、国内に留まらず、国外に向けてのPRも行い、分析方法も標準化されていくことになると見込まれています。お客様への安全・安心を継続してご提供できるとを常に考え、技術力強化を図って参ります。



～Fast GCトリプル四重極MS/MS分析機器～




～第25回環境化学討論会(新潟;2016年)発表～

2017.4

再生重油(広島総合工場出荷分)においてJISマークを取得

喜楽鉛業株式会社 広島総合工場は、平成29年4月12日付で「JIS K 2170 再生重油」の認証をし、これで弊社の3工場がJIS認証を受けました。

| | | |
|---|---|---|
|  | JQA JIS K 2170 JQ0516009 | 認証取得者名：喜楽鉛業株式会社(滋賀県湖南市) 認証に係る工場：喜楽鉛業株式会社 広島総合工場 認証製品：再生重油1種 |
| | 工業標準化法に基づくJISマーク表示制度において一般財団法人 日本品質保証機構が規格適合したことを認証した商品 | |

2017.12

ISO2015年度版への移行と全社統一版へ更新

本年度は、ISO2015年度版への移行を機会に従来のサイト制から、全社集中管理により、運営工数と維持費削減することを目的に全社統一版にて認証を取得しました。

2017.12

「産業廃棄物排出事業者・処理業者認定制度」の認定更新

弊社の北九州工場が、「北九州市認定産業廃棄物処理業者」として認定の更新をしました。

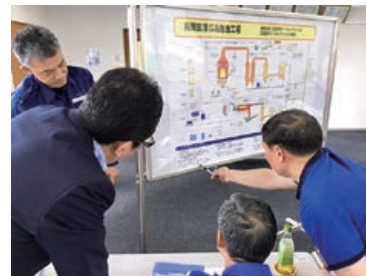


2018.5

広島県「四川省 環境保護合作事業」の研修実施

四川省の環境改善を効果的かつ実践的にするため、産業廃棄物処理を中心とした研修を実施し、環境技術交流を行いました。

| 平成30年度 広島県「四川省環境保護合作事業」研修概要 | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 1. 研修実施概要 | |
| (1) 研修期間 | 平成30年5月25日(月)～平成30年6月13日(水) |
| (2) 研修人数 | 2名(広島県環境学術研究員) |
| (3) 研修先 | 中国 |
| (4) 実施協力機関 | 広島県 |



2018.7

本社のJIS再生重油認証の更新

2015年に取得した本社のJIS再生重油について初回認証を不適合なく、更新を完了しました。

| JQA | |
|------------------------|--|
| JISマーク表示制度 適合性評価報告書 | |
| 申請者 | 株式会社 豊島産業株式会社 |
| 発行番号 | JIS-F170429 |
| 適合性評価結果 | 上記発行番号の申請者によるJIS再生重油の製造過程が、JIS規格に適合していることが確認されたことにより、適合性評価の結果、適合性評価報告書の発行が認められました。 |



2018.9

イラク環境省様の国別研修のため、広島総合工場の見学

JICA北九州国際技術協力会が主催する産業環境対策における研修プログラムとしてイラク環境省より工場見学がありました。

| 平成30年度 研修概要 | |
|-------------|----------------------|
| 研修実施概要 | イラク環境省様 国別研修 |
| 研修期間 | 平成30年9月14日(月)～15日(火) |
| 研修人数 | 2名(イラク環境省様) |
| 研修先 | 中国 |
| 実施協力機関 | 広島県 |



2018.11

ISO14001の定期サーベイランスの受審

昨年度に全社統一しましたISO14001は、本年度に認証機関を移転・更新し、スリム化と集中管理を推進するべく活動を開始しました。

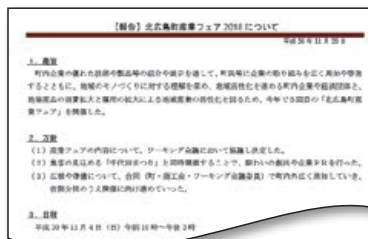
| MIRA | |
|----------------|---|
| ISO 14001:2015 | |
| 14001 | |
| 2018年11月28日 | |
| 認証番号 | MIRA-2018-1111 |
| 認証対象機関 | 株式会社 豊島産業株式会社 / 株式会社 豊島産業株式会社 / 株式会社 豊島産業株式会社 |
| 認証範囲 | 環境マネジメントシステム |
| 認証機関 | MIRA |



2018.11

北広島町産業フェア2018への出展

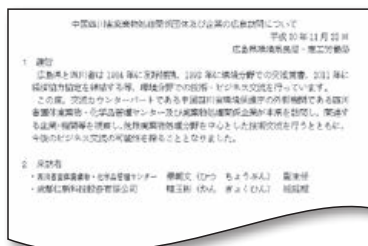
北広島町産業フェア2018が北広島町千代田グランドで開催され、当社も出展し、工場のフロー・タングローリーの体験乗車等のPRを行いました。



2018.12

四川省固形廃棄物センター訪問団様の工場見学

広島県と四川省は、1984年に友好提携し、1992年に環境分野での交流書締結等、環境分野での交流を行っており、関係企業より当社の工場見学に来社されました。



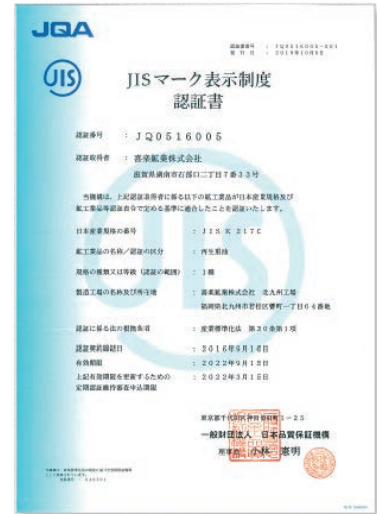
2019.3

2020年度に稼働予定の「京都工場」を着工しました。



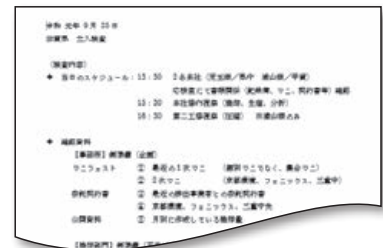
2019.9.4

北九州工場において、「JIS再生重油」の認証を更新しました。



2019.9.25

本社工場において、県の定期立入監査を受けました。



2019.9.30

ISO14001の更新審査を完了しました。



2019.10.26

北広島町「Job Festa 2019」へ出展しました。



2020.4.11

広島総合工場において、「JIS再生重油」の認証を更新しました。



2020.10.2

ISO14001の更新審査を完了しました。



2020.11.12

京都工場の見学会を開催しました。



2020.11.12

京都工場の竣工式・安全祈願祭を実施しました。

2020.12.8

本社工場にて県より、定例立入検査が行われました。

2021.2

「京都工場」の稼働



2021.7

2015年度に取得した本社のJIS再生重油について、二回目の認証を更新しました。



2021.11

安全衛生委員会の組織を再編し、新メンバーにて活動を開始しました。

2021.11

作業性の良い、当社のシンボル色「喜楽ブルー」を基調にした制服に一新しました。

2021.12

ISO14001の定期サーベイランスと京都工場の認証登録を完了しました。

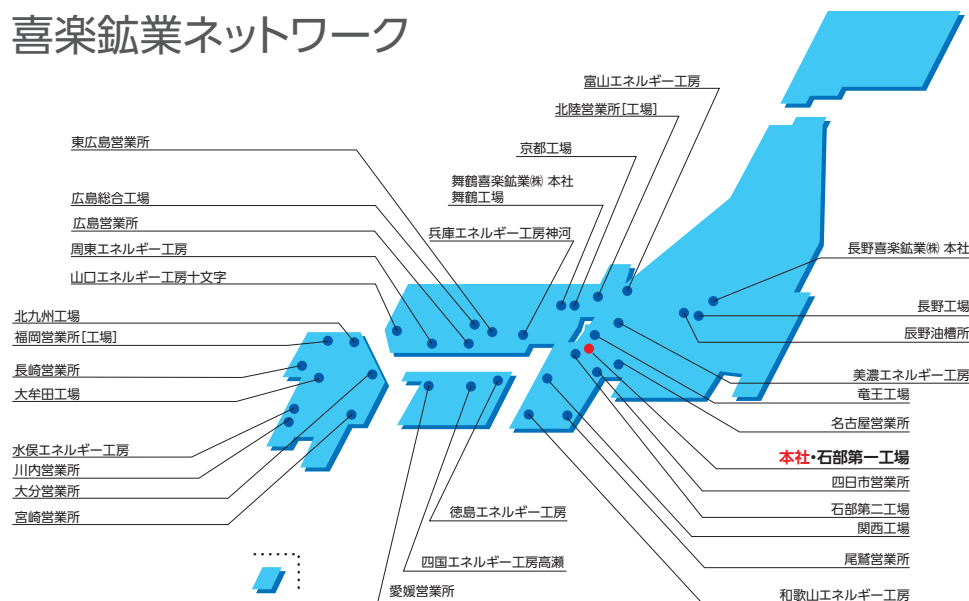


「地球環境保全に寄与すること」

「世に益すること」

それが私たちの使命です。

喜楽鋳業ネットワーク



[2017年12月現在]

喜楽鋳業株式会社 本社
石部第一工場（総合工場）

〒520-3114 滋賀県湖南市石部口二丁目7番33号
TEL: 0748 (77) 4689 FAX: 0748 (77) 2757

中間処理: 焼却・油水分離

舞鶴喜楽鋳業株式会社 本社

〒623-0362 京都府綾部市物部町白岩9番地1
TEL: 0773 (49) 1185 FAX: 0773 (49) 0650

中間処理: 油水分離

長野喜楽鋳業株式会社 本社

〒399-701 長野県塩尻市広丘吉田2902番地3
TEL: 0263 (86) 0891 FAX: 0263 (58) 2676

中間処理: 油水分離

 喜楽鋳業株式会社

お問合せ先

〒520-3114 滋賀県湖南市石部口二丁目7番33号

TEL: 0748-77-4689 FAX: 0748-77-2757

<https://www.kiraku-k.com/contact/index.html>